

2022年5月13日

各位

会社名 株式会社TVE
代表者名 代表取締役 笹野 幸明
(コード: 6466 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 飯田 明彦
(TEL. 06-6416-1184)

**業績予想の修正並びに
剰余金の配当（中間配当・創業100周年記念配当）及び
期末配当予想の修正（創業100周年記念配当含）に関するお知らせ**

最近の業績動向を踏まえ、2021年11月29日に公表しました2022年9月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせします。

また、2022年5月13日開催の取締役会において、下記のとおり2022年3月31日を基準とする剰余金の配当を実施することを決議するとともに、2022年9月期の期末配当予想を修正いたしましたので、あわせてお知らせします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 2022年9月期通期（2021年10月1日～2022年9月30日）

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に帰属 する当期純利益 百万円	1株当たり当期 純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	10,000	500	550	380	165.75
今回発表予想 (B)	8,700	50	100	50	21.77
増減額 (B-A)	△1,300	△450	△450	△330	—
増減率 (%)	△13.0	△90.0	△81.8	△86.8	—
(ご参考) 前期実績 (2021年9月期通期)	10,451	696	773	455	198.75

(2) 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高 39 億 53 百万円、営業利益 60 百万円の赤字、経常利益 7 百万円の赤字、親会社株主に帰属する四半期純利益 55 百万円の赤字となりました。

当上半期の業績自体は、主力事業である原子力発電所向け定期検査工事が下半期に集中していることから、概ね想定範囲内の結果ですが、コロナ禍の影響から、特に海外市場の立ち上がりが想定より遅れており、その結果、受注が期初計画より大幅に低迷していることから、下半期の売上計画と生産計画の下方修正が必要な状況となりました。

今後実施される原子力発電所の定期検査工事に際しては、経験上、一定の売上高の積み増しを想定していますが、現下の市場環境に照らせば、現在開示している業績予想の達成は困難な状況となりましたので、上記の通り修正をさせていただきます。

2. 剰余金の配当（中間配当・創業 100 周年記念配当）及び期末配当予想（創業 100 周年記念配当含）について

(1) 剰余金の配当（中間配当・創業 100 周年記念配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021 年 11 月 12 日公表)	前期実績 (2021 年 9 月期 第 2 四半期)
基準日	2022 年 3 月 31 日	同左	2021 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	25 円 00 銭 (普通配当 15 円 00 銭) (記念配当 10 円 00 銭)	17 円 50 銭	20 円 00 銭
配当総額	57 百万円	—	45 百万円
効力発生日	2022 年 6 月 13 日	—	2021 年 6 月 14 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正（創業 100 周年記念配当含）の内容

	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想 (2021 年 11 月 12 日)	17 円 50 銭	17 円 50 銭	35 円 00 銭
今回修正予想	—	25 円 00 銭 (普通配当 15 円 00 銭) (記念配当 10 円 00 銭)	50 円 00 銭 (普通配当 30 円 00 銭) (記念配当 20 円 00 銭)
当期実績	25 円 00 銭 (普通配当 15 円 00 銭) (記念配当 10 円 00 銭)	—	—
(ご参考)前期実績 (2021 年 9 月期)	20 円 00 銭	20 円 00 銭	40 円 00 銭

(3) 修正の理由

当社は、2022 年 3 月 10 日に創業 100 周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係者の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様へ感謝の意を表するため、中間配当におきまして、1 株当たり 10 円の記念配当を実施させていただきます。しかし普通配当につきましては、当期業績を下方修正せざるを得ない状況から、当初予想の 1 株当たり 17 円 50 銭を同 15 円に修正し、普通配当と記念配当を合計した中間配当は、1 株当たり 25 円とさせていただきます。

期末配当金につきましては、中間配当と同じく、普通配当、記念配当の合計で 1 株当たり 25 円の予想に修正いたします。普通配当と記念配当の内訳は中間配当と同額を想定しております。

以上により、年間の合計では、当初予想より 15 円増配の 1 株当たり 50 円の想定としております。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上